

## 「不安への対処力を養う「勇者の旅」プログラム実践協力校」募集要項

平成29年12月21日

千葉大学子どものこころの発達教育研究センター長決定

### 1 趣旨

小学校の不登校児童生徒が不登校となったきっかけは、「本人に係る要因」のうち「不安の傾向がある」が最も多い状況です（平成28年度）。そこで、千葉大学子どものこころの発達教育研究センターでは、「不安」への対処力向上を図ることを目的とした、授業として行う「勇者の旅」プログラム（小学校高学年向け）の開発と効果検証、および普及に向けた取り組みを行っています。

一昨年度より、文部科学省の委託を受け、本プログラムの全国的な普及を図ることにより学校現場における不登校問題解消の一助にしたいと考え、実践協力校を募集しています。平成30年度は、平成29年度実践協力校の継続実践によるプログラムの定着化、および地域の拠点校づくりを目指したいと考えています。同時に、市内のより多くの小中学校にて新たにプログラムが実践されることも期待しています。

実践協力にあたっては、調査データを千葉大学へ提供することを通して、児童の「不安」に対する対処能力向上の研究に寄与したいと考えています。なお、平成30年度新規の実践協力校に対しては、事前に大学教員による教員対象の指導法等の研修を開催いたします。

### 2 募集対象

- (1) 市内公立小学校 5校程度（平成29年度実践協力校の継続応募を含む）
- (2) プログラム実践学年 小学校5年生または6年生（学校の希望による）  
※5, 6年生のうち、実施しない学年（対照群）はアンケートのみ協力
- (3) 協力期間 1年間

### 3 応募方法

平成30年2月末までに、千葉市教育委員会学校教育部教育支援課に応募票を提出してください。なお、応募校多数の場合は、調整の上、決定します。

### 4 実践協力校の協力内容

- (1) アンケート調査の実施と提出
  - ・プログラムの効果を測定するため、プログラム実施学年児童（介入群）に対するアンケート、およびプログラム実施学年以外の児童（対照群）に対するアンケートの実施。
  - ・アンケートの実施時期は、①プログラム開始直前、②プログラム終了直後、③終了3ヶ月後の計3回です。
  - ・アンケート結果は各校にてエクセルファイルに入力後、個人情報を除くデータを千葉大学へ提供していただきます。
- (2) 「勇者の旅」プログラムの実施
  - ・「勇者の旅」プログラムは、10時間扱い（45分授業×10回）です。
  - ・プログラムは、道徳、保健、総合的な学習の時間、学活等の授業時間に実践していただきます。ただし、9、10時間目は、朝の活動等での実施も可能です。
  - ・プログラムおよびアンケートは、平成30年度中に実施をお願いします。

- ・指導者は、指導案およびワークブック（児童用資料）を使って授業を行います。
- ・指導者は、当該学級の担任を基本とし、養護教諭等、校内の教員による TT が可能です。

（3）指導者養成研修未受講者への対応

- ・指導者養成研修未受講者には、千葉大学子どもこころの発達教育研究センターが主催する1日（6時間）の指導者養成研修を受講していただきます。
- ・研修は、千葉大学等の教員が講師となり、夏季休業中に千葉大学または市内小学校にて開催します。  
なお、受講を希望する教員数が同一校内で30名を超える場合は、千葉大学と日程を調整の上、校内研修として開催することも可能です。
- ・平成29年度の実践協力校においては、e-learning 教材（90分）の視聴及び校内伝達講習により、研修未受講の先生方にもプログラムを実践していただくことが可能です。

（4）経費

- ・プログラムの開発、教員研修等の経費は、原則として大学が負担します。
- ・ただし、授業における掲示物、児童用資料（※）及び教師用指導資料の印刷代、指導者養成研修に参加する場合の旅費は、学校負担となります。  
※ワークブック（児童用資料）は1500名分を大学で用意しておりますが、それを超えた場合のみ、学校負担となります。